

## 6月前半関東のアルミ・スクラップ市況 上物5円下げ、すそ物横ばい、缶は高値修正

関東のアルミ2次合金メーカーは、6月前半のアルミ・スクラップ価格を、上物を前回比5円の値下げ、すそ物を据え置きにすることで、納入問屋筋との間で話がまとまった。5月の最後の週、2次合金メーカー側は上物10円、すそ物5円、それぞれ値下げをとの意向を納入問屋筋に伝えていた。納入問屋筋も指標のLMEアルミ新地金相場が下げ基調を強めていたため5~10円の引き下げは避けられないかもしれないとみる向きがあった。値下げの材料となっていた、LMEアルミ新地金相場は足もと上昇に転じており、なによりアルミ・スクラップにはタイト感があることから、当初言われていた下げ幅は大幅に圧縮され、それが大勢となっている。

この値下げにより2次合金メーカーの買値(置場)は、2Sキロは当たり115~125円、63S115~124円、ビス付サッシ100~115円となっている。圧延メーカーも指標のLMEアルミ新地金相場が上向いていること、スクラップに品薄感があることから、10~15円の値下げを5円の値下げに変更した。買値(持込)は2S120~126円、63Sは120~127円と、2次合金メーカーの買値と変わらない。持込にかかる運送コスト、スクラップの品質チェックの厳しさを考慮すると、2次合金メーカーの買値の方に割高感がある。

複数のアルミ・スクラップ専門問屋からは、購入意欲の差がはっきりと表れた結果だろうとの声

が聞かれる。2次合金は、自動車への依存が高いため、減少する時も大きい回復する時も大きく回復する。一方、圧延品は、建築向け(主にサッシ)需要が大きく、建築需要は依然として厳しい状況から抜け出せていない。この明暗がスクラップの購入意欲にも反映されているというわけだ。また、圧延メーカーの購入意欲の低さを瞬間的に強めた要因として、上物スクラップの納入前倒しもあったと話す問屋筋もいる。6月前半の買値引き下げは、5月の末には知れ渡っていた。少しでも高く売ろうと、6月納めのものを前倒して5月後半に納めたため、圧延メーカーの購入意欲はさらに押し下げられたというのだ。

最後に、アルミ缶スクラップだが、高値修正の動きにとどまっている。5月後半の時点で、缶プレ(ソフト)の購入価格は90~95円とするUBCメーカー(持込)と85円とするUBCメーカーに分かれていた。高値組は今回10円下げて、80~85円とし、低値組は横ばいから5円引き下げの80~85円としている。なお、原料不足から2次合金メーカーも缶プレ(ソフト)の購入に積極的になっている。買値は80~85円(置場)で、UBCメーカーとあまり変わらない。

6月前半のアルミ2次合金メーカーの購入価格(置場・現金・キロ当たり)は以下の通り。2Sで115~125円、63Sは115~123円。ビス付サッシで100~115円、缶プレ(ソフト)で80~85円。

## 5月の銅・銅合金スクラップ及び6月の見通し 橋本健一郎氏(橋本金属・アルミ)が月間レポート

前半は先月から続く中国プライスに引っ張られる形で国内銅スクラップ価格も高値安定がつづいた。しかし中盤 中国貿易収支の悪化やSRBの在庫放出の報や上海銅とLMEの値差縮小から中国プライスは完全消えた、後半はFRBの米景気下方修正・米国債の格下げ観測から、ドル安が進

行。テクニカル要因での買いから底値固い展開になった。

上記の状況の中マクロ指標では、日本自動車工業会発表によると4月の自動車生産台数は前月比-12%48万5,405台。また国土交通省発表の新設住宅着工戸数は同一0.7%の6万6,198戸数であった。

貿易関連指標は財務省貿易統計は輸出では電気

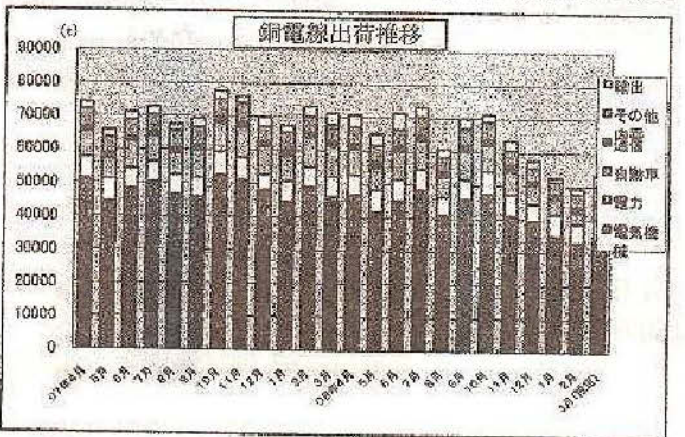
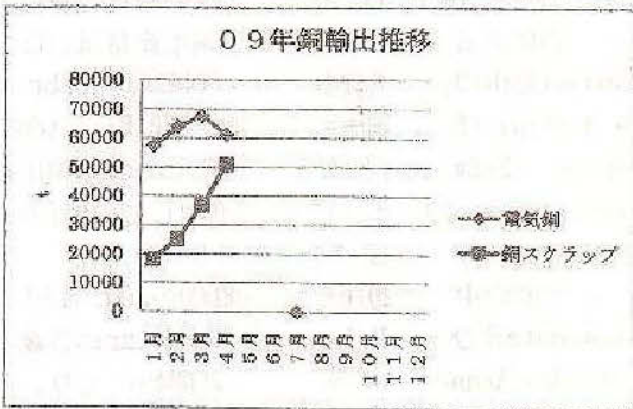
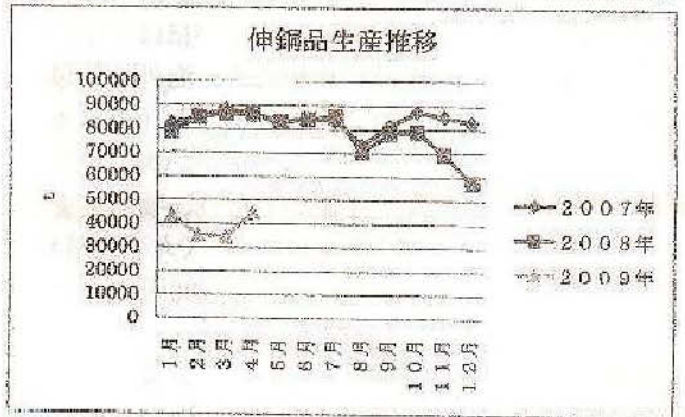
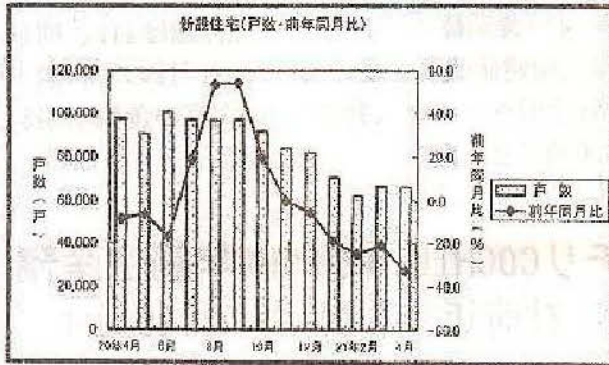
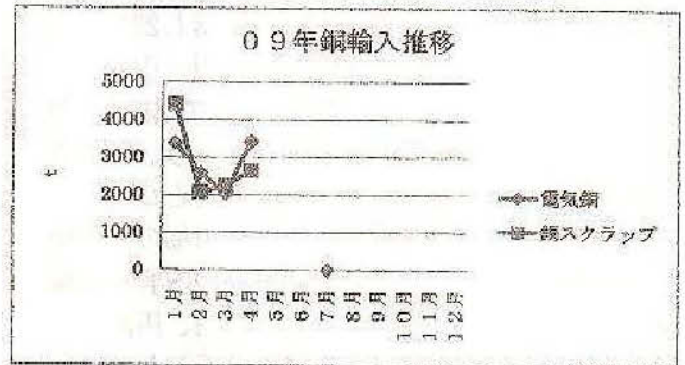
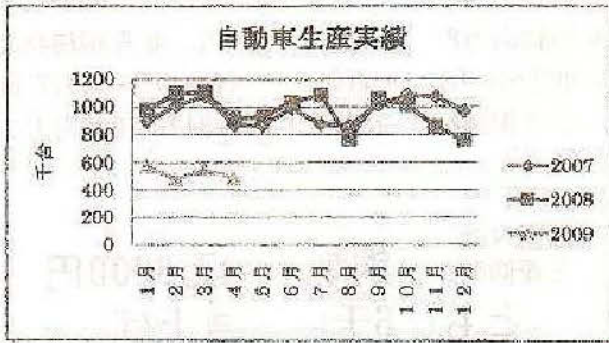
**菅野なみさん** (菅野信治郎白金商事有限会社代表取締役の母)が、4月26日亡くなられた。享年95歳。葬儀は親族のみの密葬。6月13日の午前11時から12時まで、如水会館(千代田区一ツ橋2-1-1)にてお別れ会が行なわれる。喪主は菅野信治郎・白金商事有限会社代表取締役。

住友金属鉱山(5月22日付)人事異動▽住友金属鉱山伸銅株式会社代表取締役社長(住友金属鉱山伸銅株式会社取締役副社長)中里見徹▽金属事業本部事業室勤務(住友金属鉱山伸銅株式会社代表取締役社長)金子満男

銅前月比-10%の6万1,188t、銅スクラップ同+38%の5万967t。輸入は電気銅が同+69%の3,436t、銅スクラップ+18%の2,630t。

足元国内の指標に目を移すと、日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移によれば前年比-49%の4万4,420t。日本電線工業会発表の生産実績は前年比-26.3%の5万2,200tであった。

6月の見通しとしては、スクラップに関しては貿易データが示すとおりほとんどが輸出に回っているのと5月の自動車生産が前月比で上昇しているとの予測から景気後退に底打ち感が感じられかつ現在においても国内玉はひっ迫状態のためじりじり値をあげる展開に。真鍮スクラップに関しては粉・コロなど輸出に向かないものはメーカーの購入抑制のあおりによる問屋間の過剰在庫からじりじり値を下げる展開が予想される。



住友金属 鉱山電気亜鉛  
蒸溜亜鉛・原料指定問屋

亜鉛ドロス・滓買入

**大阪亜鉛工業株式会社**

取締役社長 林 昭宏

本社・工場 大阪市西淀川区佃4丁目14-3  
〒555-0001 TEL 06-6471-2531~5

東京営業所 東京都墨田区立花2丁目4-5  
〒131-0043 TEL 03-3618-2351~2

減摩合金・各種ハンダ  
鉛滓・錫滓の精錬

**中川金属精錬所**

代表者 中川 諒治

〒556-0022 大阪市浪速区桜川1-6-22  
TEL 06-6561-3759代表